

もの言う牧師のエッセー 第155話

「RE2PECT」

いやはやスゴイCMだ。それにしてもこれはESPN（スポーツチャンネル）のCMなんだろうか。それともメジャーリーグかヤンキースの宣伝なのか。“100秒のドラマ”の中で街中の誰も彼もが“彼”に帽子を取って挨拶している。消防士、警察官、ビジネスマン、学生、コック、子供たちなどのほか、何と宿敵レッドソックスのファンたちやニューヨーク・メッツの選手らまでも。さらにはマイケル・ジョーダン、タイガー・ウッズ、ラッパーのJay-Zに加え元ニューヨーク市長のジュリアーニ氏を初めとする大勢のセレブたちも続々と登場。

ニューヨーク・ヤンキースの“ザ・キャプテン”、デレク・ジーターがついに引退した。彼の背番号「2」は永久欠番となり、これでヤンキースから1桁の背番号が消えることにもなった。

「RE2PECT」。Respect（尊敬）のSの文字をひっくり返して彼の背番号“2”と置き換えた造語である。ヤンキース一筋20年、球団最多の通算3465安打を放ち5回のワールドシリーズ制覇、今どき珍しいアメリカ人生え抜きのMLBスーパー・スターであり、いつも“いい所”で打ち、誰からも愛される国民的ロールモデルである彼が、いま歓呼の声を持ってアメリカ中から称えられている姿を見て、やがて帰還する三位一体の“第二位格”の神であるキリストを思い出しニヤリとしてしまった。

「また私は見た。私は、御座と生き物と長老たちとの回りに、多くの御使いたちの声を聞いた。その数は万の幾万倍、千の幾千倍であった。彼らは大声で言った。『ほふられた小羊は、力と、富と、知恵と、勢いと、誉れと、栄光と、賛美を受けるにふさわしい方です。』また私は、天と地と、地の下と、海の上のあらゆる造られたもの、及びその中にある生き物がこう言うのを聞いた。『御座にすわる方と、小羊とに、賛美と誉れと栄光と力が永遠にあるように。』」

ヨハネの黙示録 5章 11-13節。

これは66巻からなる聖書の最後にある、キリストの磔刑を間近で見たイエスの弟子ヨハネが、その最晩年に記した神からの預言である。地上で2000年以上尊敬されて来たスーパースター、肝心な時に助けてくれる救い主、欠番はなく永遠に生きられるキリストが、やがて大歓声と共に帰ってくるのを我らは肉眼で見る。そのとき新しい時代が始まり、世界中が彼に服する。

2014-10-31

